

イーストスプリング 韓国株式オープン

第10期

第10期（決算日 2015年11月2日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング韓国株式オープン」は、2015年11月2日に決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限（2006年1月31日設定）
投資方針	投資信託証券への投資を通じて、主に韓国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な投資対象	外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダーズ・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト [エクイティ]」の韓国ウォン建て受益証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（10月31日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
6期(2011年10月31日)	8,417	0	10.8	91.3	1,720
7期(2012年10月31日)	8,264	0	△ 1.8	96.5	1,053
8期(2013年10月31日)	10,186	1,000	35.4	93.3	605
9期(2014年10月31日)	11,753	1,000	25.2	85.6	550
10期(2015年11月2日)	12,580	0	7.0	92.6	391

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークを設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

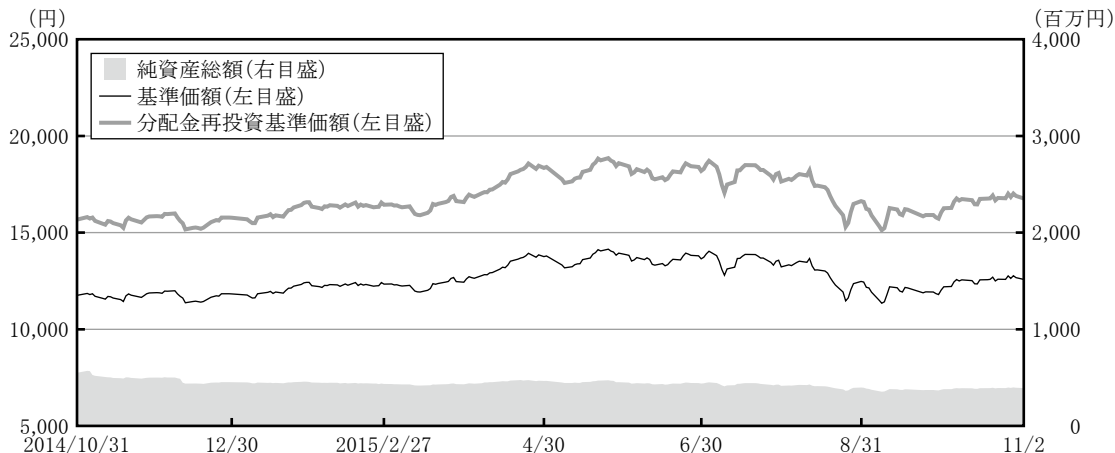
年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2014年10月31日	11,753	—	85.6
11月末	11,880	1.1	95.2
12月末	11,830	0.7	88.0
2015年1月末	12,258	4.3	92.3
2月末	12,333	4.9	92.4
3月末	12,603	7.2	94.4
4月末	13,763	17.1	89.9
5月末	13,943	18.6	93.9
6月末	13,643	16.1	93.7
7月末	13,231	12.6	95.9
8月末	12,475	6.1	92.9
9月末	11,794	0.3	92.0
10月末	12,673	7.8	92.5
(期末) 2015年11月2日	12,580	7.0	92.6

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークを設けておりません。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について(第10期:2014年11月1日から2015年11月2日まで)



第10期首	11,753円
第10期末	12,580円(既払分配金0円)
騰落率	7.0%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当期初から2014年12月まで、株式市場では原油安の進行を受けてリスク回避姿勢が強まる局面もありましたが、基準価額は比較的小さな動きとなりました。2015年1月から4月まで、韓国銀行(中央銀行)による利下げ、中国の政策対応への期待、企業業績の改善傾向などを背景に株価は堅調に推移したものの、その後はギリシャ債務問題や中国本土株の急落を受けて株価は下落に転じ、基準価額も下落傾向となりました。8月には、中国景気の減速懸念を背景として世界同時株安となる中、為替市場では円高が進行したことから、基準価額は下げ幅を拡大しました。9月以降、中国の追加利下げや米国の利上げ開始見送りを好感して株式市場は落ち着きを取り戻して反発し、基準価額も反発して期末を迎えました。

投資環境について

○海外株式市況

当期初から2014年12月まで、韓国株式市場では原油安の進行を受けてリスク回避姿勢が強まる局面もありましたが、株価は比較的小さな動きとなりました。2015年1月から4月まで、欧州中央銀行(ECB)の量的緩和、韓国銀行による利下げ、中国の政策対応への期待、企業業績の改善傾向などを背景に、株価は上昇しました。その後、韓国国内での中東呼吸器症候群(MERS)の感染拡大に加えて、米国の年内利上げ観測、ギリシャ債務問題、中国本土株の急落といった外部要因も悪材料となり、5月から8月まで4ヵ月続落となりました。8月には、米国の利上げが9月に行われる可能性が燃る中で、中国における実質的な人民元切り下げの実施や製造業購買担当者景気指数(PMI)の低下を受けて、中国景気の減速懸念が増幅されました。そして、中国の株安に端を発したリスク回避の動きは、連鎖的かつ急速に拡大して世界同時株安となり、株価は下げ幅を拡大しました。9月以降、中国の追加利下げや米国の利上げ開始見送りを好感して株式市場は落ち着きを取り戻す中、韓国株の割安感を意識した買いもあり、株価は反発しました。

○為替市況

韓国ウォンは、2015年4月まで対円で緩やかな上昇傾向であったものの、5月以降、米国の利上げ観測や韓国国内でのMERSの感染拡大を背景とした韓国市場からの資金流出もあり、下落に転じました。その後も、中国本土株の急落を受けてリスク回避の動きが強まり対米ドルで下落するとともに、8月の世界同時株安の局面では対米ドルでの円高も進行したため、韓国ウォンは対円での下げ幅を拡大しました。9月以降、中国の追加利下げや米国の利上げ開始見送りを受けてリスク回避の動きが後退し、韓国ウォンは反発しました。

○国内債券市況

10年国債利回りは期初から2015年1月中旬にかけて、日銀による国債購入策の強化を背景に低下傾向(価格上昇)となりました。しかし、1月中旬の国債入札が不調だったことをきっかけに市場の流動性に対する警戒が高まり、3月中旬にかけて利回りは上昇(価格は下落)しました。7月以降は、ギリシャのユーロ離脱懸念や中国株の下落、8月の人民元の実質的な切り下げを発端とした市場の混乱などを背景にリスク回避姿勢が強まったことから堅調となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダーズ・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト[エクイティ](以下「インダストリー・リーダーズ・セキュリティーズ[エクイティ]」)ということがあります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

○インダストリー・リーダーズ・セキュリティーズ[エクイティ]

韓国株式を主要投資対象とし、割安と考える銘柄に分散投資を行い、リスクの低減を図りつつベンチマークである韓国総合株価指数(KOSPI)を上回るリターンを獲得を目指して運用を行いました。

KOSPIは、2015年8月の下落局面では当期末来のリターンがマイナス圏に落ち込みましたが、9月以降、中国の追加利下げや米国の利上げ見送りを好感して反発しました。このような環境の中、徹底した企業分析に基づいて、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。パフォーマンスについては、化粧品株の保有や、鉄鋼、機械、インターネットのセクターにおける銘柄選択がプラス要因となりました。一方、化学、繊維製品、自動車部品における銘柄選択がマイナスに作用しました。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。デュレーションを概ね長めに維持し、長期の債券の金利低下が相対的に大きかったことからパフォーマンスにプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークを設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第10期	
	2014年11月1日 ～2015年11月2日	
当期分配金 (円)		—
(対基準価額比率) (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		9,597

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)一印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるインダストリー・リーダース・セキュリティーズ[エクイティ]の組入比率を高位に保つことを基本とします。

○インダストリー・リーダース・セキュリティーズ[エクイティ]

2015年9月及び10月は、米国の利上げ開始見送りと世界的な景気刺激策への期待から株価は反発しましたが、10月末の米連邦公開市場委員会(FOMC)開催以降は米国の年内利上げ観測が高まっており、新興国市場の需給は厳しい状況になると思われます。また、ECBと中国による景気刺激策への期待は継続しているものの、ポジティブなニュースは既に株価に織り込み済みであるため、マクロ経済に関する良好なモメンタムの継続は限定的となると考えられます。韓国国内では、サムスングループが株主還元策を強化し始めたことから、市場では配当や自社株買いなどの現金の活用に対する注目が高まると見込んでいます。企業業績が強力な株価上昇のドライバーとなる可能性が低い中では、株主還元策の強化等が株価指数の下値を支えると考えています。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を上回ることを目指した運用を行っていく所存です。インフレ率の低迷や日銀による金融緩和と政策などから国債利回りは低位で安定的に推移すると思われませんが、バリュエーション面で割高になっていることや米国の利上げなどのリスクを鑑み、デュレーションの短期化を図っていく方針です。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2014/11/1 ～2015/11/2		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	141円	1.113%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、12,629円です。
(投信会社)	(40)	(0.320)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(販売会社)	(96)	(0.760)	
(受託会社)	(4)	(0.033)	
(b) 有価証券取引税	3	0.021	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(3)	(0.021)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用	25	0.201	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(11)	(0.087)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.017)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(12)	(0.097)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	169	1.335	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当期中の売買および取引の状況 (2014年11月1日から2015年11月2日まで)

投資信託受益証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
国内	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)	千口 —	千円 —	千口 4,615	千円 5,000	
外国	韓国 イーストスプリング・インベストメンツ・ インダストリー・リーダーズ・ セキュリティーズ・インベストメント・ トラスト [エクイティ]	千口 1,470,541	千韓国ウォン 1,506,553	千口 1,957,325	千韓国ウォン 2,050,000	

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等 (2014年11月1日から2015年11月2日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2015年11月2日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前期末	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	5,184	568	618	0.2
合 計	5,184	568	618	0.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	前期末	当 期 末	評 価 額		比 率		
			口 数	口 数		外貨建金額	邦貨換算金額
						千韓国ウォン	千円
(韓国)	千口	千口	千韓国ウォン	千円	%		
イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダー ス・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト [エクイティ]	4,057,850	3,571,065	3,423,009	362,496	92.5		
合 計	4,057,850	3,571,065	3,423,009	362,496	92.5		

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2015年11月2日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 363,114	% 91.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	32,280	8.2
投 資 信 託 財 産 総 額	395,394	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産 (362,714千円) の投資信託財産総額 (395,394千円) に対する比率は91.7%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2015年11月2日における邦貨換算レートは、100韓国ウォン=10.59円です。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年11月2日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	395,394,612円
コール・ローン等	32,279,724
投資信託受益証券(評価額)	363,114,871
未 収 利 息	17
(B) 負 債	3,400,221
未 払 解 約 金	814,540
未 払 信 託 報 酬	2,352,723
そ の 他 未 払 費 用	232,958
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	391,994,391
元 本	311,605,747
次 期 繰 越 損 益 金	80,388,644
(D) 受 益 権 総 口 数	311,605,747口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	12,580円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	468,134,524円
期中追加設定元本額	82,459,673円
期中一部解約元本額	238,988,450円

損益の状況

当期 (自2014年11月1日 至2015年11月2日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	65,910,111円
受 取 配 当 金	63,965,446
受 取 利 息	1,944,665
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 39,957,391
売 買 益	15,423,200
売 買 損	△ 55,380,591
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,768,401
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	20,184,319
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	41,047,270
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	19,157,055
(配 当 等 相 当 額)	(197,866,902)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△178,709,847)
(G) 合 計 (D+E+F)	80,388,644
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	80,388,644
追 加 信 託 差 損 益 金	19,157,055
(配 当 等 相 当 額)	(197,866,902)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△178,709,847)
分 配 準 備 積 立 金	101,188,980
繰 越 損 益 金	△ 39,957,391

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (60,141,710円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (197,866,902円) および分配準備積立金 (41,047,270円) より、分配対象収益は 299,055,882円 (10,000口当たり9,597円) ですが、当期に分配した金額はありません。

当期の分配金

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

なお、復興特別所得税に係る記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、お申し出頂ければ再度、送付させていただきますので、その旨を販売会社までお申し出下さい。

※上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」をご利用の場合は、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。

お知らせ

○運用報告書(全体版)の交付に代えて、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法による提供を可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2014年12月1日)

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

フ ァ ン ド 名	イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダーズ・セ キュリティーズ・インベストメント・トラスト [エクイティ]	
形 態	韓国籍外国投資信託／オープン・エンド型	
表 示 通 貨	韓国ウォン	
運 用 の 基 本 方 針	韓国株式を主要投資対象とし、割安な銘柄に分散投資することで、リスク調 整後のリターンが継続的にベンチマークを上回ることを目的とした運用を行 います。	
主 な 投 資 対 象	韓国の金融商品取引所に上場されている株式	
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の60%以上とします。 ・債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の35%以下とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下としま す。（当該株式の時価総額の比率が市場時価総額の10%を超える場合を除 きます。） ・投資信託証券への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 （上場されている投資信託を除きます。） 	
ベ ン チ マ ー ク	韓国総合株価指数（K O S P I）	
フ ァ ン ド の 関 係 法 人	運 用 会 社	イーストスプリング・アセット・マネジメント・コリア・カ ンパニー・リミテッド
	受 託 会 社	National Agricultural Cooperative Federation
手 数 料 等	申 込 手 数 料	ありません。
	信 託 報 酬	年率0.325%
	上記のほか、組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等および監査 費用等がかかります。	
信 託 設 定 日	2002年4月18日	
決 算 日	毎年4月17日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託/適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	BofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)※	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資には、制限を設けません。 	
手数料等	申込手数料	ありません。
	信託報酬	年率0.216%(税抜0.2%)
	上記のほか、監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
信託設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日(休業日の場合は翌営業日)	

※ バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

「イーストスプリング韓国株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダーズ・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト [エクイティ]」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。法令等に則り、2015年4月17日を基準日とする財務諸表（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳し、運用状況を作成しております。

イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダーズ・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト [エクイティ] の内容

①貸借対照表

(単位：韓国ウォン)

科 目	第12 (前) 期 2014年4月17日現在	第13 (当) 期 2015年4月17日現在
	金 額	金 額
資産		
I. 運用資産	(50,269,044,826)	(59,047,586,783)
1. 現金および預金	62,981,076	442,963,833
(1) 現金および現金性資産	62,981,076	442,963,833
2. 貸付債権	900,000,000	—
(1) コール・ローン	900,000,000	—
3. 有価証券	49,306,063,750	58,604,622,950
(1) 株式	49,306,063,750	58,604,622,950
II. その他資産	(349,254,738)	(4,403,949,273)
1. 有価証券売却未収入金	285,785,651	4,376,091,148
2. 未収利息	235,345	1,837,034
3. 未収配当金	63,233,742	26,021,091
資産合計	50,618,299,564	63,451,536,056
負債		
I. その他負債	(2,694,854,536)	(15,217,557,664)
1. 未払収益	1,933,338,903	11,176,182,851
2. 有価証券買付未払金	648,042,282	591,320,364
3. 未払解約金	62,392,262	3,404,880,569
4. 未払手数料	48,813,809	42,914,960
5. その他未払金	2,267,280	2,258,920
負債合計	2,694,854,536	15,217,557,664
純資産		
I. 元本	47,923,445,028	48,233,978,392
(総口数： 当期：48,233,978,392口 前期：47,923,445,028口) (1,000口当り基準価格： 当期：Class A 1,000.00ウォン Class C-F 1,000.00ウォン Class C-W 1,000.00ウォン 前期：Class A 1,000.00ウォン Class C-F 1,000.00ウォン Class C-W 1,000.00ウォン		
純資産合計	47,923,445,028	48,233,978,392
負債および純資産合計	50,618,299,564	63,451,536,056

②損益計算書

(単位：韓国ウォン)

科 目	第12(前)期 2013年4月18日から 2014年4月17日まで	第13(当)期 2014年4月18日から 2015年4月17日まで
	金 額	金 額
I. 運用収益	4,030,597,447	9,290,815,911
1. 投資収益	(252,286,404)	(349,047,521)
(1) 利息	23,539,566	21,489,087
(2) 配当金	228,690,342	327,546,713
(3) その他収益	56,496	11,721
2. 売買益および評価益	(6,458,707,814)	(13,438,201,349)
(1) 有価証券売買益	3,987,207,210	7,099,794,687
(2) 有価証券評価益	2,471,500,604	6,338,406,662
3. 売買損および評価損	(2,680,396,771)	(4,496,432,959)
(1) 有価証券売買損	2,041,467,729	3,885,652,122
(2) 有価証券評価損	638,929,042	610,780,837
II. 運用費用	224,788,226	195,919,997
1. 運用手数料	133,545,757	98,167,872
2. 販売手数料	74,088,398	76,878,598
3. 受託手数料	9,380,823	11,780,140
4. 事務受託手数料	4,690,408	5,890,067
5. その他費用	3,082,840	3,203,320
III. 当期純利益	3,805,809,221	9,094,895,914
1,000口当り当期純利益	119.87	249.45

③有価証券明細表(株式) (2015年4月17日現在)

(単位：韓国ウォン)

名称	数量(株)	取得原価	帳簿価額(=公正価値)
有価証券市場			
Samsung Electronics	6,768	9,406,957,027	9,813,600,000
AmorePacific	1,330	3,702,874,878	5,200,300,000
LG Hausys	19,794	3,503,321,733	3,483,744,000
Korea Zinc	7,478	3,132,189,656	3,395,012,000
AmorePacific Group	1,861	2,267,933,104	3,016,681,000
CJ	14,008	2,383,027,351	2,801,600,000
Hotel Shilla	23,040	2,325,422,746	2,741,760,000
CJ Korea Express	13,244	2,419,315,372	2,721,642,000
Korea Investment Holdings	36,694	2,101,997,421	2,623,621,000
Korea Electric Power Corporation	44,287	1,943,935,594	2,105,846,850
Hana Tour	16,519	1,705,970,547	2,056,615,500

(単位：韓国ウォン)

名称	数量 (株)	取得原価	帳簿価額 (=公正価値)
NAVER Corp	2,699	1,970,400,736	1,805,631,000
Hankook Tire	34,592	1,674,503,180	1,547,992,000
Shinsegae International	13,730	1,313,528,741	1,517,165,000
Hyundai Glovis	5,688	1,410,414,996	1,308,240,000
SI Corporation	13,840	1,099,375,323	1,222,072,000
Korea Aerospace Industries	19,349	862,257,096	1,124,176,900
Hanssem	5,615	806,886,098	1,114,577,500
Shinhan Financial Group	22,907	948,841,643	986,146,350
SK Hynix	21,113	979,365,860	940,584,150
Grand Korea Leisure	20,443	772,426,163	841,229,450
Hyundai Motors	5,964	711,451,524	697,788,000
CJ CheilJedang Corp	1,664	611,016,309	679,744,000
Hankook Tire Worldwide	25,583	555,126,093	533,405,550
NS Shopping	2,156	516,279,767	517,440,000
Kiwoom Securities	3,763	298,926,363	293,514,000
Cosmax	1,883	231,357,552	280,567,000
LG Chem	1,034	255,725,444	270,391,000
Yuhan Corporation	1,138	209,263,240	256,050,000
POSCO	720	189,273,211	183,600,000
SK Telecom	652	177,370,530	179,300,000
KT&G	1,933	179,173,464	177,449,400
SK Innovation	1,500	138,198,608	170,250,000
Hyundai WIA Corporation	1,005	173,835,138	145,222,500
CJ CGV	1,645	93,664,886	119,262,500
Kia Motors Corp	2,150	97,914,794	102,125,000
Hyundai Mobis	219	55,425,364	52,669,500
LIG Insurance	1,833	43,445,276	44,266,950
Lotte Chemical	26	4,987,788	6,162,000
有価証券上場株式 合計	399,867	51,273,380,616	57,077,444,100
コスダック市場			
Paradise	33,970	903,106,719	890,014,000
CJ O Shopping	1,361	373,045,410	317,929,600
YG Entertainment	4,105	193,869,134	196,834,750
Kakao Corp	1,069	133,595,246	122,400,500
コスダック市場 合計	40,505	1,603,616,509	1,527,178,850
合計	440,372	52,876,997,125	58,604,622,950

「イーストスプリング韓国株式オープン」が組入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込 期 中		BofAメリルリンチ国債インデックス (1-10年債) (ベンチマーク)		債 券 組入比率	純 資 産 総 額
		分 配 金	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
9期 (2011年 2月25日)	10,366	0	0.7	274.800	0.8	97.8	3,069
10期 (2012年 2月27日)	10,571	0	2.0	280.375	2.0	99.6	3,025
11期 (2013年 2月25日)	10,721	0	1.4	284.628	1.5	99.3	2,878
12期 (2014年 2月25日)	10,769	0	0.4	286.542	0.7	99.1	1,394
13期 (2015年 2月25日)	10,850	0	0.8	289.835	1.1	94.0	1,085

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。(バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスについては、以下同じ。)

当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰 落 率	BofAメリルリンチ国債インデックス (1-10年債) (ベンチマーク)		債 券 組入比率
			騰 落 率	騰 落 率	
	円	%		%	%
(期 首) 2014年 2月25日	10,769	—	286.542	—	99.1
2月末	10,770	0.0	286.585	0.0	99.1
3月末	10,757	△0.1	286.338	△0.1	96.5
4月末	10,763	△0.1	286.585	0.0	99.7
5月末	10,777	0.1	287.010	0.2	99.6
6月末	10,792	0.2	287.416	0.3	99.5
7月末	10,800	0.3	287.702	0.4	99.3
8月末	10,805	0.3	287.943	0.5	99.3
9月末	10,802	0.3	287.928	0.5	98.9
10月末	10,827	0.5	288.662	0.7	96.6
11月末	10,843	0.7	289.158	0.9	96.5
12月末	10,881	1.0	290.256	1.3	99.2
2015年 1月末	10,873	1.0	290.279	1.3	99.4
(期 末) 2015年 2月25日	10,850	0.8	289.835	1.1	94.0

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2014/2/26 ～2015/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	23円	0.216%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,807円です。
(投信会社)	(15)	(0.142)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(2)	(0.021)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.053)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.027	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(3)	(0.027)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.243	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

当期中の売買および取引の状況 (2014年2月26日から2015年2月25日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国内	債 証 券	186,088	508,289 (35,000)

(注1) 金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

当期中の主要な売買銘柄 (2014年2月26日から2015年2月25日まで)

公社債

買 付		売 付	
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
		千円	
第72回 利付国債 (20年)	59,097	第280回 利付国債 (10年)	103,584
第67回 利付国債 (20年)	50,980	第328回 利付国債 (10年)	101,216
第69回 利付国債 (20年)	45,786	第102回 利付国債 (5年)	80,414
第99回 利付国債 (5年)	30,224	第308回 利付国債 (10年)	58,570
		第72回 利付国債 (20年)	58,067
		第277回 利付国債 (10年)	56,009
		第95回 利付国債 (5年)	50,427

(注1) 金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況（2014年2月26日から2015年2月25日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

公社債

（A）種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

（2015年2月25日現在）

区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	953,000	1,019,675	94.0	—	44.3	30.3	19.3
合 計	953,000	1,019,675	94.0	—	44.3	30.3	19.3

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

（注3）—印は組入れなしです。

（B）個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

（2015年2月25日現在）

種 類	銘	柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
			%	千円	千円	
国債証券	第99回	利付国債（5年）	0.4	30,000	30,177	2016/09/20
	第101回	利付国債（5年）	0.4	34,000	34,233	2016/12/20
	第102回	利付国債（5年）	0.3	10,000	10,050	2016/12/20
	第110回	利付国債（5年）	0.3	10,000	10,082	2018/03/20
	第277回	利付国債（10年）	1.6	37,000	37,621	2016/03/20
	第280回	利付国債（10年）	1.9	45,000	46,110	2016/06/20
	第284回	利付国債（10年）	1.7	50,000	51,520	2016/12/20
	第285回	利付国債（10年）	1.7	80,000	82,764	2017/03/20
	第295回	利付国債（10年）	1.5	30,000	31,452	2018/06/20
	第298回	利付国債（10年）	1.3	50,000	52,377	2018/12/20
	第300回	利付国債（10年）	1.5	30,000	31,748	2019/03/20
	第301回	利付国債（10年）	1.5	25,000	26,536	2019/06/20
	第303回	利付国債（10年）	1.4	30,000	31,799	2019/09/20
	第305回	利付国債（10年）	1.3	7,000	7,405	2019/12/20

種 類	銘 柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	第306回 利付国債 (10年)	1.4	20,000	21,329	2020/03/20
	第307回 利付国債 (10年)	1.3	35,000	37,150	2020/03/20
	第310回 利付国債 (10年)	1.0	25,000	26,273	2020/09/20
	第311回 利付国債 (10年)	0.8	50,000	51,993	2020/09/20
	第315回 利付国債 (10年)	1.2	20,000	21,406	2021/06/20
	第325回 利付国債 (10年)	0.8	20,000	20,940	2022/09/20
	第42回 利付国債 (20年)	2.6	50,000	55,129	2019/03/20
	第47回 利付国債 (20年)	2.2	40,000	44,722	2020/09/21
	第48回 利付国債 (20年)	2.5	50,000	57,035	2020/12/21
	第53回 利付国債 (20年)	2.1	40,000	45,411	2021/12/20
	第63回 利付国債 (20年)	1.8	50,000	56,446	2023/06/20
	第67回 利付国債 (20年)	1.9	45,000	51,484	2024/03/20
	第69回 利付国債 (20年)	2.1	40,000	46,471	2024/03/20
	合 計			953,000	1,019,675

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2015年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,019,675	% 93.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	67,036	6.2
投 資 信 託 財 産 総 額	1,086,711	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年2月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,086,711,968円
コール・ローン等	62,181,315
公 社 債(評価額)	1,019,675,870
未 収 利 息	4,819,605
前 払 費 用	35,178
(B) 負 債	1,488,813
未 払 信 託 報 酬	1,173,813
そ の 他 未 払 費 用	315,000
(C) 純資産総額(A-B)	1,085,223,155
元 本	1,000,181,732
次 期 繰 越 損 益 金	85,041,423
(D) 受 益 権 総 口 数	1,000,181,732口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,850円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,295,094,103円
期中追加設定元本額	24,976,363円
期中一部解約元本額	319,888,734円

損益の状況

当期 (自2014年2月26日 至2015年2月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	15,423,565円
受 取 利 息	15,423,565
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,530,863
売 買 益	4,455,245
売 買 損	△ 8,986,108
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,853,592
(D) 当期損益金(A+B+C)	8,039,110
(E) 前期繰越損益金	68,497,766
(F) 追加信託差損益金	8,504,547
(配当等相当額)	(52,164,515)
(売買損益相当額)	(△43,659,968)
(G) 合 計 (D+E+F)	85,041,423
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	85,041,423
追 加 信 託 差 損 益 金	8,504,547
(配当等相当額)	(52,164,515)
(売買損益相当額)	(△43,659,968)
分 配 準 備 積 立 金	87,588,119
繰 越 損 益 金	△11,051,243

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (12,569,973円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (52,164,515円) および分配準備積立金 (75,018,146円) より、分配対象収益は139,752,634円 (10,000口当たり1,397円) ですが、当期に分配した金額はありません。